

開かれた市政推進のためのコミュニケーション誌

## 主な内容

- P2 平成17年度決算・討論
- P4 委員会審議報告
- P9 バス対策特別委員会のうごき / 決議
- P10 16人が一般質問
- P26 行政調査レポート
- P28 意見書 / 編集後記

雲仙市内の日本一・日本初シリーズ第4弾

千々石町 橋神社大門松 世界一

高さ 13m

# 4 回定例会

## 決算など不認定!!



平成18年第4回定例会を12月1日から21日まで、21日間の会期で行いました。今議会では、平成18年度一般会計補正予算等6件、平成17年度決算9件、条例の制定・一部改

### 審議案件と結果

	事 件 名	議決結果	
条例議案 4 件	雲仙市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例についてほか 3 件	原案可決	全員賛成
予算議案 6 件	平成18年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案	原案可決	賛成多数
	平成18年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案ほか 4 件	原案可決	全員賛成
決算議案 9 件	平成17年度一般会計歳入歳出決算認定についてほか 3 件	不認定	全員反対
	平成17年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてほか 4 件	認定	賛成多数
その他10件	雲仙市有財産の無償譲渡についてほか 9 件	原案可決	全員賛成
決議 1 件	不正経理問題の徹底解明と再発防止等を求める決議について	原案可決	全員賛成
意見書 2 件	道路特定財源制度の堅持に関する意見書についてほか 1 件	原案可決	全員賛成
選挙 1 件	長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	酒 井 八洲仁	

# 平成18年第

## 平成17年度一般会計



正等4件、長  
崎県後期高齢  
者医療広域連  
合の設立につ  
いて等10件、  
不正経理問題  
の徹底解明と  
再発防止等を  
求める決議の  
発議案等3件  
が審議されま  
した。

### ● 18年度補正予算

議案	賛成討論	反対討論	議決結果
一般会計	行政全般にわたり、積極的な予算計上と判断する	障害者の自己負担増や、膨大な時間外手当増に納得できない	原案可決

### ● 17年度決算

議案	賛成討論	反対討論	議決結果
一般会計	なし	預け、書き換えの不正経理が確認されている以上、容認できない	不認定
国民健康保険	預け等はないとの報告を受けている	不正経理が行われた一般会計からの繰入金がある	認定
老人保健	不正経理はないとの明確な答弁を受けている	不正経理が行われた一般会計からの繰入金がある	認定
簡易水道事業	なし	不正経理の調査中の段階では容認できない	不認定
下水道事業	なし	不正経理が行われた一般会計からの繰入金がある	不認定
と畜場	不正はないと報告を受け、疑わしいだけでは反対できない	不正経理の調査中の段階では容認できない	認定
国民宿舎事業	不正経理を行える状況ではないと判断する	不正経理の調査中の段階では容認できない	認定
温泉浴場事業	独立採算での事業運営に不正はないと判断する	不正経理の調査中の段階では容認できない	認定
水道事業	なし	不正経理の調査中の段階では容認できない	不認定

## 討論

## 総務

本委員会に付託された予算案件1件、条例案件1件その他案件1件を審議し、全会一致で可決すべきものと決定。

雲仙市一般会計補正予算（第7号）・公有林整備事業債の低金利債への借り換えにより財政負担の軽減を図るための補正予算

**質疑** 公有林整備事業債

を低金利債へ借り換ええるとのことだが、実質何%で借りるのか。

**答弁** 19年3月22日借入れ予定。現時点で整備事業債の補助事業分3・1%、単独分2・65%で、1、400万円の軽減を見込んでいる。

雲仙市有財産の無償譲渡・地縁による団体の設置により不動産を保有することが可能となったことから南串山町内平地区自治会へ集会施設を無償譲渡するもの

**質疑** 各町にこういう施設は、どれくらい残っているのか。

**答弁** 建物はあまり無いが、土地は最低でも10件程度ある。

【要望】地縁団体の設立をしていない自治会が相当あると思うので、無償譲渡ができるよう指導をお願いしたい。

**質疑** 被害を受けたカ-

あり、買い受けることにより、裁判なしに引き受けができる。弁護士の指導もあり購入することにした。

プミラーの確認方法と修理内容は。

**答弁** 支所の職員が地域を回り、確認した。

カープミラーが倒れたことによる基礎工事、ミラー・支柱の取り替えなどが主な修理。

**質疑** 合併時、防災無線の周波数は違っていたが、現在は統一されているのか。

**答弁** 今の器機では統一できない。防災無線の老朽化も進んでおり、今後改修を行う必要がある。

防災無線の屋外スピーカ-



防災無線の戸別受信機



は。

**答弁** 市内全域につながるが、ファイバーは有線なので、災害が発生し、電柱が倒れて線が切れた場合、緊急放送ができないことがある。

**質疑** コミュニティ助成事業の内容は。

一般コミュニティ助成事業は備品の整備などに100万円から250万円の枠で10万円の単位で100%助成される。

**質疑** 今後この助成が受けられるのか。

**答弁** 合併により自治体数が減少しているため、ある程度の助成は見込めると考える。

出初式の分列行進



消防団の設置、消防団員の定員、任免、給与、服務等の条例の一部改正

質疑、意見はなく、原案のとおり可決した。

よう、周知徹底をお願いしたい。



【要望】大いに活用できる

【要望】市民から職員が本会議のテレビ放送を見ていたとの批判があつたことだが、本会議に出席しない職員は何か論議されているのか十分把握できない。議会に関心を持つことが重要であり、事務に支障をきたさない程度にテレビなどで確認をさせるべきである。



木指小学校小田山分校

本委員会に付託された条例案件2件、予算案件3件を審議し、可決。陳情1件を採択。

雲仙市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例

小浜町木指小学校小田山分校は明治36年7月小

浜村小田山分教場仮教室としてスタート。100年以上にわたり小田山地区の皆さんに愛され育てられてきた。現在、2名の児童数で今後も増加は見込めず、児童の教育的な面から木指小学校に平成19年4月1日統合することを妥当と認め可決した。



小田山分校教室

雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

入院時入院者の食事療養費の一部負担に加え、生活療養費の一部、いわゆる住居費の一部を負担するための条例改正。  
**【意見】**個人負担の増につながる改正には反対する。医療費は年々増加傾向にあり、少しでも医療費を抑制し、医療保険財政の健全化のため、応分の

負担はやむを得ない。採決の結果、賛成多数で原案を可決した。

平成18年度一般会計補正予算（第7号）関係

**質疑** 民生部門における時間外手当10、358千円の補正額が多い。

**答弁** 総合支所から本庁に事務が移ったことや、保育料滞納分700万円、現年度800万円ほどあり、総合支所と連携して納入額を増やすよう時間外にも努めたい。

**質疑** 老人施設入所事業費の内容は。

**答弁** 老人福祉法の改正により、養護老人ホーム施設入所者も在宅と同じく介護保険サービスを受けられるようになった。

**【意見】**障害者自立支援法により利用者の負担が増える、後期高齢者医療費負担金は制度に反対する。採決の結果、賛成多数で可決した。

平成18年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

老人保健法の改正により70歳から74歳までの高齢者の加入増により医療費の増加補正である。原案を妥当と認め可決した。

平成18年度雲仙市老人保健特別会計補正予算（第2号）

老人医療給付費の増加補正であり、原案を可決した。

トンネルじん肺根絶対策を国や県に求めるための陳情書

トンネルじん肺被害者訴訟の早期解決と、トンネルじん肺を防止する対策の確立を求める陳情書の趣旨を理解し採択した。また、このことについての意見書を総理大臣および関係大臣に提出することを決定した。



木指小学校（小浜町）で説明を受ける委員

委員会に付託された  
予算案件4件、条例案  
件1件及びその他案件  
8件を原案可決。

## 市道の路線廃止（吾妻 工業団地内）

**質疑** 代替道路の建設に  
ついてどのように考えて  
いるのか。

**答弁** 現在計画されてい  
る道路整備計画を見直し、  
市道の新設改良工事とし  
て、国道から広域農道ま  
での間を全体事業計画と  
する対応により、地元と  
協議しながら推進する。

## 南串山町の市営土地改 良事業の計画変更

**質疑** 本事業において、  
市道が拡張されたが、舗  
装が行われていないが、  
いつごろまでに舗装する  
のか。

**答弁** 畑かんの埋設とい  
うことで遅れている。済  
み次第、道路河川課で整  
備を行う。

字の区域の変更につい  
て（南串山町・国見町）

原案通り可決した。

## 損害賠償の額を定める こと（千々石海岸）

**質疑** 防潮ネットは、は  
ずすということだが、  
ネットをはずした場合、  
設置しなかつたから被  
害が出たという問題が生  
じないのか。

**答弁** 各行政機関及び弁  
護士とも相談したが、市  
が設置した施設が被害を  
与えなければ、賠償責任  
はない。自然災害になつ  
てくる。

また、植栽を守るため  
の、防潮ネットであった  
ため、植栽したものが大  
きくなつたら撤去する方  
針であった。

## 雲仙市水道料金審議会 設置条例の制定

**質疑** 審議会委員につい  
ては概ね内定しているの  
か。

# 建設

**答弁** 条例制定後に検討  
し決定する。

**質疑** 基本方針等につい  
て、内部で検討されたが、

**答弁** 料金の種別、区分、  
基本料金・超過料金のあ  
り方、負担の仕方等に差  
異があるため、雲仙市と  
しての体系を作りたいと  
提案する予定であり、基  
本的には、平等になるよ  
うな料金体系の諮問をす  
る。

**質疑** 水道料金審議会委  
員は、地域のことを把握  
している地域審議会の中  
から選任できないか。

愛野駅そば交差点



**答弁** 雲仙市の将来の水  
道料金を確立するための  
審議会でなければならな  
い。いろんな人の意見を  
聞きながら、知識を持つ  
た方をお願いしたい。

平成18年度雲仙市一般  
会計補正予算（第7  
号）関係分

## 愛野（JA愛野支 店そば）の信号機の撤去 と電柱の移設の工事は誰 がやるのか。

**答弁** 電柱については九  
州電力が移設し、負担金  
で支払う。また、信号機  
は公安委員会と協議をし  
た結果で移設場所を決め、  
かかる費用について補償  
する。

**質疑** 小浜地区の地籍調  
査は、何年で終わるのか

**答弁** 平成6年にスタ  
ートしており、平成33年  
に終わる予定である。

## 平成18年度雲仙市簡易 水道事業特別会計補正 予算（第3号）

**質疑** 水道料金審議会委  
員報酬として1人あたり  
7,000円となつてい  
るが、その根拠はなにか

**答弁** 雲仙市の報酬及び  
費用弁償に関する条例に  
沿った額によって計上し  
ている。

**質疑** 水道会計の時間外  
勤務は、一週間に平均何  
時間ぐらいか。

**答弁** 2〜3時間程度で  
ある。

支所の時間外等の把握  
はタイムカード及び工事  
の修理日報で確認してお  
り、本庁分は、吾妻町の  
分を本庁の方で管理をし  
ており、班長と課長によ  
り確認を行っている。

## 平成18年度雲仙市下水 道事業特別会計補正予 算（第3号）

**質疑** 国見町の下水道事  
業の進捗状況はどうか。

**答弁** 当初平成18年度で

荒牧・尾登地区簡易水道施設  
（南串山町）



事業認可の取得をする予  
定であったが、県との協  
議の中で、雲仙市全体の  
下水道計画を策定するの  
が先であるとの指導があ  
り、国見地区、小浜の海  
岸線、南串山地区を含め  
た全体の計画を策定して  
いる。

## 平成18年度雲仙市水道 事業会計補正予算（第 3号）

原案通り可決した。

本委員会に付託された予算案件1件を審議し可決。

平成18年度雲仙市一般会計補正予算(第7号)案について(関係分)

**質疑** 小浜リサイクルセンターの修繕料、頻繁に故障している、機械的に



小浜リサイクルセンター

無理な稼働をしているのではないか、または完全な設備ではなく、試験的な設備ではなかったのか、もしそうであれば、メーカー側にも責任があり補償させるべきだ。

**答弁** 総点検を実施した結果、いくつもの部品交換が必要で、来年度までに修繕及びメンテナンスを行う予定、メーカーの責任は完成してから4年目であり、当初の契約書で重大な過失なら10年間その他は1年間が瑕疵担保責任の期間であると明記されている。責任を問うのは難しいが、今後の修理及びメンテナンスを発注する際、施設に不具合を生じた場合の費用負担については受注業者と検討してみる。

**質疑** 市有林保育事業委託料として小浜町に植栽の計画があるが、樹種は何か、以前花粉の出ないヒノキがあると聞いたが検討をされたのか。

**答弁** 市有林の植栽についてはヒノキが主で他にスギも計画している。雲仙森林組合への委託なので、今後協議をしたい。

**質疑** 農地法において権限委譲があり県下で雲仙市が初めての事であるがその内容は。経費については交付金があると思うが事前の研修などの費用への交付はあるのか。

**答弁** 農地法の権限委譲については、第3条、4条・5条、すべて市へ権限が委譲される。農地の権利等の設定、転用など4ha未満については市へ委譲される。

## 産業経済

**質疑** 市が所有するホテルの解体は多額の費用がある、郡市再生のモデル

**答弁** まちづくり研究会として県より千々石地区が指定を受け、活動をされているが、コンサル等が入れているのか。

**答弁** 県のまちづくり課が中心となって指導を行っている。

**質疑** 市が所有する雲仙パークホテルは景観を悪化させている。解体の計画は。

**答弁** 市が所有するホテルの解体は多額の費用がある、郡市再生のモデル

**調査** 調査の中でも検討協議していきたい。

**質疑** 雲仙ブランドロゴマークについての進捗状況はどうなのか。

**答弁** ログマークは、142点の中から10点に絞り、認定委員会において決定する予定である。

**【要望】** リサイクルセンターの修繕はメーカー側に責任追求が出来るよう

に研究してほしい。畜産の糞尿関係は小浜町周辺のみ受け入れて、他地区は自前で処理されているが、市全体として捉え、公平にするべし。植林については、酸性雨等も考慮し、保安林については広葉樹なども検討してほしい。採決の結果、原案を妥当と認め可決すべきものと決定した。

市が所有する雲仙パークホテル

市が所有する雲仙パークホテル

市が所有する雲仙パークホテル

# 決算審査特別委員会報告

議案第171号から第179号までの9件について12月12日、14日、15日に小委員会では審査し、12月18日に本特別委員会で審査した。

議案第171号「平成17年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定」

各小委員会からの報告

全会一致で認定しない。

各小委員会での反対討論

共通して次のような趣旨のものであった。

「預け」「書き換え」の不正経理が発覚し、理事者側もこれを認めている。よって、認定できない。  
特別委員会で決定

全会一致で認定しない。

議案第172号「平成17年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定」

教育厚生小委員会からの報告

賛成多数で認定。

特別委員会での反対討論

不正会計が行われた一般会計から繰入金がある。

よって反対。

賛成討論

預け等は無いとの答弁

があり認定すべき。

特別委員会での決定

賛成多数で認定。

議案第173号「平成17年度雲仙市老人保健特別会計歳入歳出決算認定」

教育厚生小委員会からの報告

報告

賛成多数で認定。

特別委員会での反対討論

議案第172号と同様の趣旨。

賛成討論

この特別会計は、預け

に関する需用費等の支出

はない。裏金はないとの

答弁がされており賛成。

特別委員会での決定

賛成多数で認定。

議案第174号「平成17年度雲仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定」

建設小委員会からの報告

全会一致で認定しない。

特別委員会での決定

賛成少数で認定しない。

議案第175号「平成17年度雲仙市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定」

建設小委員会からの報告

全会一致で認定しない。

特別委員会での決定

賛成少数で認定しない。

議案第176号「平成17年度雲仙市と倉場特別会計歳入歳出決算認定」

教育厚生小委員会からの報告

賛成多数で認定。

特別委員会での反対討論

裏金問題が発生しており、認定できない。

賛成討論

不正はないと報告があり、疑わしいだけで反対できない。

特別委員会の決定

賛成多数で認定。

議案第177号「平成17年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定」

産業経済小委員会からの報告

報告

賛成多数で認定。

特別委員会での反対討論

議案第176号と同様の趣旨。

賛成討論

望洋荘の職員は自分達の賃金をカットまでしている。不正経理を行える状況ではないので認定すべき。

特別委員会の決定

賛成多数で認定。

議案第178号「平成17年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定」

教育厚生小委員会からの報告

賛成多数で認定。

特別委員会での反対討論

議案第177号と同様の趣旨。

賛成討論

一般会計からの繰入金もなく、独立採算で事業を運営しており、部長からも預け等の不正はないとの報告も受けている。よって賛成。

特別委員会の決定

賛成多数で認定。

議案第179号「平成17年度雲仙市水道事業会計歳入歳出決算認定」

建設小委員会からの報告

全会一致で認定しない。

特別委員会での反対討論

外部調査が今から行われ、調査結果しだいでは不正が出てくることも考えられる。よって反対。

賛成討論

この事業は企業会計で独立採算で運営しており、一般会計からの繰入金もない。よって賛成。

特別委員会の決定

賛成少数で認定しない。

# 県営バス撤退問題対策特別委員会報告

## 【県営バス路線廃止後の代替策】

競合路線（現在、県営バスと島鉄バスが運行している路線）

島鉄バスのみの運行となる。

高校生などの通学・通勤手段として朝夕の便数を増やしたダイヤ設定

運行本数の確保および経費削減のため愛野駅乗継ダイヤ設定

愛野駅乗継でも定期券や回数券はバス利用運賃と変わらず1枚の定期等

単独路線（県営バスだけが運行している路線）

千々石・小浜地域の県営バス単独路線は乗合タクシー事業を実施

市内タクシー事業等のマイクロバスおよびジャンボタクシーを活用

ダイヤ・運賃・路線の考え方

- ・ 現行の県営バス事業を継承することを基本に運賃も同等額、ダイヤについても島鉄バスのダイヤ等調整を行う。

雲仙～長崎線

県交通局により1日3往復6便を条件つきで継続して運行

《条件》収支バランスを図りつつ運行を継続

市民の利用促進による路線維持が特に必要

## 委員会のうごき

平成18年第3回定例会（9月）から第4回定例会（12月）までに調査した内容について報告します。

11月29日の全員協議会において県営バス路線廃止代替案について説明を受け、12月18日に第6回委員会を開催し代替案について詳細な説明を受けました。内容について次のとおりです。



平成19年3月で撤退する県営バス

今後についても、本特別委員会で継続して調査し平成19年4月1日より、市民の皆様方へ不便をきたさないよう協議してまいります。

## 決議しました!

## 不正経理問題の徹底解明と再発防止等を求める決議

本市の経理処理において、不正な経理処理が行われていたことが判明した。

本定例会に提案された平成17年度決算においても不正経理が行われていることが確認され、新たに旧町決算についても不正経理が行われていることが報告された。このことについては、市民からも厳しい批判が高まっている。

このような不正経理が本市において行われていたことはまことに遺憾なことである。更に、市民の負託を得ている市議会の責務は重大であり、引き続き真相解明、再発防止に向け一層の努力を傾注するものである。

先に、市長から市民並びに市議会に対して、このような事態が生じたことに対する謝罪と、これから外部調査を実施することが示された。

市議会としても、一日も早い市政への信頼回復と、このような不正経理を二度と繰り返さないために、次の事項について強く要望する。

1. 早期に外部調査による徹底した解明を行うこと。
2. 再発防止のため、経理処理の再構築を行うこと。
3. 不正経理に対する責任の所在を明確にすること。
4. 公金を取り扱う職員としての責任感、倫理観を早期に醸成すること。

以上決議する。

平成18年12月21日

長崎県雲仙市議会

# 一般質問

## 16議員が登壇



まちだ やすのり 小浜町  
**町田 康則** 議員

### 市の防災行政無線の難聴地区の解消と耐震対策は

**町田議員** 小浜町の山畑

の上部、下部、雲仙の札ノ原、千々石町でも防災無線が大変聞きにくいという市民の声があつてい

計画の中には、マグニ

チユード7の地震が島原半島で起きたと想定した場合、約5,000棟の建物が全壊、避難者は6万人に上ると書かれてい

る。不安をあおるつもりはないが、きちっとした形で市民にも知らせておくべきではないか。

**奥村市長** 小浜町の防災

行政無線は昭和59年に設置され、一部に無線が聞こえにくい事、整備が必要なのは引き継がれている。平成19年からデジタル無線設備を設置する



島原半島の活断層群（青線）

ため吾妻本庁、小浜・南串山地区を整備し、20年に愛野、21年に瑞穂、22年に吾妻、23年に国見、24年に千々石を整備する計画となっている。

**町田議員** これからの防

災無線は各一軒ごとの戸別受信機が最良と考える。戸別受信機が設置されているのは国見町、瑞穂町、南串山町の3町で、一部

だけあるのが吾妻町、愛野町、全くないのが千々石町と小浜町である。

4町の市民のためにもぜひ早く設置してもらいたい。

また、自主防災組織率は92%だが、この一年間に訓練を行った所は10%しかない。一年に一回は防災の日を定め、市民あげての自主防災組織の訓練日としてもらいたい。

### 不正経理、裏金問題の原因は

**町田議員** 10月29日の新

聞で県庁に不正経理があつたと報じられたが、11月2日雲仙市でも同様の不正経理があり、内部調査の結果、5,786万円の預けがある。また、裏金の私的流用も発見され、外部調査をしてもらう予定だと言われたがこの原因は何だと思つか。

**奥村市長** 補助金の活用で不正経理が慢性的にやってきたためだと思う。

**町田議員** 預けがあつた

場合、税金のむだ遣いがどういう形で起きたか調べてみたが、①裏金を使っての物品購入の際割引などなく定価のままで納入している。またある時は割高の手数料を取って納入している。②預け業者が倒産して預け金が全く回収不能になつたという県の実例がある。③職員異動の際、後任に管理を引き継がなかつたため業者が預け金300万円を自分の懐に入れてい

た例もあつた。④個人とかグループによる私的流用で飲食やゴルフ道具、平戸牛のセットまで買っていた例があつた。県知事は、帳簿を提出しない業者に対し指名停止まで検討すると要請したため新たに19社が提出してきたが雲仙市でも言うべきでは。

**吉田助役** そこまで強く行政としては、言えないと聞いている。

**町田議員** そういう弱腰

ではとても市民は納得しない。県は隠している帳簿をちゃんと出さない時は指名停止を検討すると言っている。雲仙市としてのこれからの対策は。

**奥村市長** 外部調査委員

会を開き、内容を精査してもらい、不正経理を根絶し、それをまず市民の方々にお示しすることが私の責務だと思う。



おおくぼ まさみ

吾妻町

**大久保正美** 議員

## 不正会計問題の全容解明を

**大久保議員** 議会に「預

け」や「書き換え」による偽造された領収証による監査を行わせその決算書を議会に提出した事は、公文書偽造・改ざんであり地方自治法や財務規則に違反する違法行為ではないか。その提出された書類一切が真実であるとして行政を信頼し議会で審議していた訳である。

この行為は業者との「癒着」に他ならないと思う。このように簡単に安易に作れる巨額の裏金である。魔が差し、私的流用する職員もいないと

もかぎらない。このような状況をにつくった執行者の監督責任は、大きい。

公金は、市民の血税で

ある。1円たりとも大事に遣うべき。市民は、苦しみ耐え納税している。市民の信頼回復の為に専門家による外部調査委員会を立ち上げ全容解明し本当に実効性のある再発防止策を確立すべき。調査に協力しない業者は、執行者に今後の便宜を図ってもらうための密約のようなものだ。口裏合わせや裏金にかかわりながら証言に協力しない業者は、指名停止にするなど強い態度にでる事が、全容解明に近づくのではないか。

税法上の保存義務により帳簿など5年間保管と

なっているはず。税務署など他の省庁にも協力を仰ぎ全容解明に全力を尽くすべきではないか。以上裏金問題の詳細について答弁を求める。

**奥村市長** 監督責任として反省している。決算書においては不備があった。業者との癒着に関しては、現段階ではつかんでいない。外部調査委員会に委ねたい。

**金子助役** この件に対する議員への対応の甘さにお詫びする。

**大久保議員** 補助金などの目的外使用は、補助金適正化規制法に違反し、会計検査が入ると補助金の返還になるのではないか。

**吉田助役** 十分に考えられる。市民の皆様にお詫びする。業者には指名停止の文言は避け誠心誠意の協力をお願いする。

**大久保議員** 補助金返還となるとそれもまた、市民の血税である。全容解明には業者の協力が不可欠。指名停止にする、しないは市で判断できるはず。備品目録で、役所の財産であると立証できない備品があるのではないか。

**吉田助役** 書類等調査照合し現品確認の上、備品台帳に記帳のため、しばらく時間を頂きたい。

**大久保議員** 人事異動でたまたま裏金にかかわる課へ配属されたという職員もいると思うが、そのへんが相当難しいと思うが。

**金子助役** その点は十分に配慮したい。

**大久保議員** 裏金問題は組織的に慣習化されているように思えるが、三役の監督責任をどのようにとるか。責任を職員だけに押しつけてしまうことにならないように。

**奥村市長** 外部調査委員会の報告をもとに、処分検討委員会をつくり、三役の監督責任を含め考えたい。





まちだ まこと

町田 誠 議員

千々石町

## 地域医療の充実を

町田議員

旧国立小浜病院は、昭和39年4月診療を開始し、平成14年3月1日より公立新小浜病院を開設した。現在は少子・高齢化も相まって、多様化・複雑化する医療制度、さらには高度化する医療は、お年寄りを初め、特に体に何らかの疾患のある方にとっては理解が難しく、不安が募る現状である。

また健康増進に貢献している。

最近の報道によると全国的に医師不足が深刻であり、特に小児科医、産婦人科医の不足が切実な問題である。医師の確保が困難な理由として、医師臨床制度の義務化により医学生の大半が民間病院での研修を希望するため、大学が医師不足になる事態が発生したためである。

雲仙・南島原保健組合が開設した公立新小浜病院は、島原半島の西部7カ町の中核病院として、救急告示の指定を受け、観光立地の面あるいは災害時または緊急時の重要な拠点として、住民福祉

雲仙・南島原保健組合の管理者である市長に尋ねる。近隣地区住民から強い要望もある。小浜病院に小児科・産婦人科を増設する考えはないか。平成16年度の7歳未満の

救急患者で、小浜消防署管内で56名中26名の方を県央へ搬送している実情である。

委員会研修による富山

が誕生し3つの公設病院を持つ市であった。3病院とも小児科に力を入れ今後の計画として市民の要望にこたえ産婦人科も



公立新小浜病院

県南砺市役所を訪問し、特に印象に残ることは医療、福祉の充実があった。南砺市は平成16年8つの町と村の合併、6万都市

取り入れる話であった。平成15年に石川県山中温泉医療センターを視察、当センターは、昭和16年10月山中海軍病院として

創設され、昭和20年に旧厚生省へ移管、現在では病床数159床をかかえる山中医療センター開設者が旧山中町長田中実氏である。このセンターも11科目のうち小児科、産婦人科は不採算性の面もあるが一番評価が高いとの話であった。公立新小浜病院管理者である奥村市長に今後の病院運営について率直な考えを聞かせてほしい。

奥村市長 小児科設置の件については住民の強い要望があることは承知している。私も小児科設置を望んでいる。こうした慢性的に小児科医が不足している現状を認識しているの

で、雲仙・南島原保

具合よくなったかな



健組合の中で医師会と指定管理者である三協会並びに組合議会とも協議を重ね、公立新小浜病院として、小児科を設置することの可能性について協議したい。また婦人科も同様である。

町田議員

小浜病院を全面的にバックアップする意気込みに変りないか。

奥村市長

公立小浜病院も含め、雲仙市にできるだけ小児科、産婦人科の設置を含め、医師の派遣などをお願いする努力をしてみたい。



もりやま しげいち

国見町

森山 繁一 議員

## 国見町公共下水道事業は

**森山議員** 合併前に示された国見町公共下水道計画は、計画面積200ha、

計画の決定時期は、地域住民へ説明をしてほしい。

区域内の人口が8,600人、区域外の人口が3,100人、事業費として約93億、また事業着手が平成19年、おおむね15年後を目標に計画、この基本計画の変更はあるのか、

**奥村市長** 国見町でも平成16年度に下水道事業計画を策定し、計画では平成18年度に事業認可を取得し、平成19年度から着手する予定であった。現在、下水道事業全体計画を作成中であり、その計画の中で国見地区の汚水処理計画についても再検討する。事業全体計画は、今年中に策定する。国見地区の計画についても位置づける。事業全体計画の作成完了後、なるべく早い時期に説明会を開催したい。



下水道工事現場

したい。

## 農地・水・環境保全対策事業は

**森山議員** 農地・水・環境保全対策事業は農政改革の3本柱の一つとして、平成19年度にスタートする本事業に取り組み要望地区は、本市で13地区、

合計面積1,811ha。本事業は面積10a当り、国が2,200円、県と市で2,200円、合計4,400円の助成、市が支援しなければ国は助成しない。本市もぜひこの事業を支援してもらいたい。

**奥村市長** 国は地域において農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域ぐるみで協働活動、先進的な営農活動を支援する目的で平成19年度より実施する。本市は、農地、農業用水等の保全管理を集落等のまとまった地域において地域住民と一体となった協働活動への支援、地域環境全体に向けた先進的な営農活動を支援する予定である。

## イチゴたんそ 苺の炭疽病対策と生産農家の育成は

**森山議員** 「幸の香」(さちのか)導入以来、毎年炭疽病の発生が多くなってきている。18年度において作付、定植ができなかったハウス面積約6ha、定植後も炭疽病で枯れる。

病気に対する予防、治療する農薬は効き目があまりない。病害虫担当者によると雨よけ栽培が最も有効な手段。雨よけ施設に対し県は園芸ビジョン、21パワーアップ事業で対応したい、本市においても、ぜひ18年度内での予算化してもらいたい。また19年度においても育苗施設の支援事業を継続してもらいたい。

12月補正予算に所要経費を計上。平成19年度も当施設の要望があるので、継続して実施していきたい。今後も炭疽病防除の技術確立を課題とし農業改良普及センター、農協と連携して苺の生産安定を図りたい。



イチゴの育苗ベンチ



なかむら かずあき

南串山町

## 中村 一明 議員

### 不正経理の明確な説明を

**中村議員** 不正経理の預

け、書き換えについて  
県・市において審議がさ  
れている。11月1日、長  
崎県においては裏金が2、  
081万円、25日の新聞  
紙上によると、3億3、  
500万円、59の部署で  
預け、書き換えがされて  
いる。知事は「全廃指示  
後に1億円の裏金が捻出  
された。」と報じ、県民に  
対し謝罪している。雲仙  
市においても210万円  
位と説明があった。この  
不正経理について、明確  
な説明を市長に求める。

**奥村市長** 予算単年度主

義のもと、たとえば選挙  
執行経費について年度後

半に高額の決定があり、

年度末までに全額を執行  
に至らない場合があった。  
また一般財源が乏しい中、  
物品購入費など内部経費  
については、出来るだけ  
国・県の補助事業で賄い、  
それにより余裕が生じる  
一般財源を市民サービス  
に当ててきた。補助事業  
等に係る事務費の執行に  
おいて、年度末までに執  
行に至らなかつた残額に  
ついて、購入していない  
物品を購入したこととし  
て支払い、預けの形で業  
者に管理させていた。今  
回の不適切な事務処理は、  
私自身はもとより職員一  
同、組織全体の問題とし  
て反省する。今後は、職

員教育と意識改革に取り  
組み、物品調達にかかる  
チエックの厳格化を図り、  
事務処理改善に取り組む。

### 異常気象による 農業対策は

**中村議員** 今年の夏季・

秋季の異常気象により、  
本市の農家は大打撃を受  
けた。特に、レタスの植  
付け、秋馬鈴薯等は例年  
にない大不作。特に、レ  
タスの植付時に降水がな  
く、水汲み、かん水作業  
等、収穫の時期を迎え、  
値段は暴落、このような  
事態に対し、市長の対策

はどうするのか。

**奥村市長** 水稻の日照不  
足、台風13号による風害、  
塩害等により、島原半島  
は歴史的な大不作に陥っ  
ている。対策として、次  
年度の種子代の補助、野  
菜価格安定対策事業を活  
用し、農家の経営安定を  
図る。

### 教育問題について の指導・助言は

**中村議員** 昨今、報道さ

れている、いじめ、自殺、  
殺人が子供、親、教師に  
までかかわっている中で、  
教育長はどのように指導、  
助言をしているのか。

**鈴山教育長** いじめを苦  
に、自ら命を絶つ痛まし  
い事件が続発し、極めて  
残念である。早速、市内  
小・中学校に対し調査、  
また、模倣事件が発生し  
ないよう指導したところ

である。不登校について  
は、1年間で30日以上  
の欠席を不登校ととらえ、  
市内に小学生2名、中学  
生11名がいる。生徒の問  
題行動については、早期  
発見、早期対応に努める  
ことが重要であると考え  
ている。校長、教頭研修  
会等を通して指導してい  
る。教育委員会として、  
1 学校訪問や調査等を行  
い、実態を的確に把握  
すること。  
2 事例研究を行うこと  
により、教職員の指導能  
力を高め、意識の高揚に  
努めること。  
3 学校と地域の関係機  
関と協議し、連携のあり  
方等を検討すること。  
以上のことについては  
11月25日の校長研修会  
でも伝達指導した。学校、  
家庭、地域社会で思いや  
りや、温かい心を育てて  
いくことが大切と考えて  
いる。



安値により処分されるレタス



よしだ みわこ

瑞穂町

**吉田美和子** 議員

## どうなる今後の高齢者タクシー券

**吉田議員** 前回の9月議

である。

会定例会において、高齢者タクシー券の支給基準や交付内の見直しについて尋ねたが「近隣市の状況を踏まえながら、検討する」との答弁であった。どのように考えられたのか。

**吉田議員** 平成18年度4月1日現在、70歳以上の方は何名か。またその内交付された方は各町にどのくらいか。

**奥村市長** 島原市、長崎市の状況を調査したが、対象者が75歳以上で自ら運転しない人と定められていたり、70歳から80歳と年齢制限があったりしている。

**市田市民福祉部長** 交付対象者は10,607人で18年度4月から10月までの交付数は

町	1,068人
見町	637人
瑞穂町	915人
妻野町	342人
石町	714人
浜町	1,087人
山町	461人
南串山町	461人
合計	5,224人

対象年齢、助成金額とも雲仙市の方が手厚い内容となっている。年2回の交付や誕生日に随時交付するかは、まだ検討中

であり、交付額は1、260万7,050円である。また、このま

くと3月末には2、100万円ほどの交付額となる。

**吉田議員** 30枚つづりを一人当たり2冊の割合で支給されるようになってきているが、60枚つづりの1冊にした場合、予算面ではどうなるか。

**市田市民福祉部長** 印刷代は若干安くなるが、2冊ではなく1冊で良いという人もいる。

**奥村市長** 使用稼働率も含めてどちらがコストダウンできるか検討中である。

**吉田議員** 私のもとへタクシー券はぜひ継続をして」との声が届けられたが、今後はどう考えているのか。

**奥村市長** 高齢者が増え、タクシー券の利用率もあがってくればバス路線廃止にともなうジャンボタ

クシーなどの利用も考えなければならぬ時期にきているとも言える。

## 本市のいじめ対策は

**吉田議員** 本市のこともたちのいじめの実態はどうか。

**鈴山教育長** 言葉によるもの、仲間外し、無視、水をかけたりする身体への直接攻撃などがあつたが、ほとんどの案件は解決し担任教師を中心に、学校全体で共通理解を図りながら、子どもが変わった動きがないかを見逃さないようにしている。

**吉田議員** 小学校で授業のサポートと図書の仕事をされるスクールサポーター、中学校で悩みなどの相談を受けられる心の教育サポーターに、何名応募があつたのか。

修などの資質の向上

**鈴山教育長** それぞれ、2倍の応募があつた。

**吉田議員** 現在、スクールサポーターは2校に一人ということだが、各校に一人という配置にはならないのか。

**鈴山教育長** 19年度には各校一名配置できればと、検討している。心の教育サポーターには相談などで200件ほどの来室者がいた。

**吉田議員** いじめ問題など思春期の子どもたちと関わっていく両サポーターのストレスも相当あると考えられ、また専門的な知識も必要だと思えるが、この方々の研修はないのか。臨床心理士との勉強会という形で取り組みはできないのか。

修などの資質の向上

については、十分研究し、検討していきたい。

**吉田議員** 予算面の問題が大きいとのことだが。

**奥村市長** 厳しい予算の中でも、必要なことはきちんとやるつもりでいる。

**吉田議員** 将来の雲仙市を背負って立つ子どもたちに対してのことなので、予算確保をお願いしたい。子どもたちは雲仙市の宝であり、高齢者はこの郷土を創りあげた功労者である。今後も教育と福祉の充実を期待したい。



町の美化清掃に励む子どもたち



なかむら いさお

中村 勲 議員

千々石町

## 台風被害箇所の早期復旧と改良を

**中村議員** 去る9月16日

上陸した台風13号の被害を受けた箇所は現在もそのままになっているが、この被害箇所を復旧し改良する考えはないか。また、防風林として植栽されている松林の枯れ木が目立っている、早急な対策が必要であると思うが何か対策を考えているのか。

抵抗性松苗を千々石海岸には昨年捕植した。

**松田建設整備部長** 千々

石漁港内の転落防止柵とインターロックキング等の海岸線復旧は、補助事業で施行されたものであり従来と同等の復旧が義務づけられているが、9月の補正で間に合わなかった。今度の補正予算に提案している。防潮ネットについては、今後撤去の方向で検討している。

**酒井農林水産環境部長**

松の枯れ木が目立っているが1月にはかなり捕植をしたが今年の早魃で枯れているので海側には散水栓があるので散水をした



海岸に打ち上げられた漂着ゴミ

が、保安林については、散水してないので枯れた一因にもなっている。今

後は、河川からの散水を検討したい。

## 市の防災対策を検討する委員会の設置の考えは

**中村議員** 毎年襲来する

台風は、年々大型化し、

被害も甚大化しつつあるため、海岸線の住民は、その度に危険にさらされている台風等の被害に対する調査、研究をする特別委員会の設置を考

えはないか。

**奥村市長** その件については、議会の方で十分ご検討頂き議会を通じて提案して頂ければ財政とも協議させて頂きたい。

## 飲酒運転の完全撲滅を

**中村議員** 飲酒運転は犯

罪行為である事から厳しい取締りがあるにもかかわらず全国各地で悲惨な事故が発生し大きな社会問題となっている。年末をひかえ酒席の機会も多

か対策を考えているのか。

**奥村市長** 公私を問わず

原則懲戒免職とする。雲仙市職員の交通違反の懲戒処分基準に関する規則を11月20日に制定し、公付した。

## 市民の交流と観光活性化を目的とした式典の開催の計画は

**中村議員** 雲仙市の合併

一周年記念事業として、文化面、スポーツ面では積極的に開催され市民から好評を得ている。これに加え市民の交流と、観光活性化の一助を考え旧町出身が一同に会して還暦の式典を実施する考えはないか。

の開催は、式典の参加者のみならず、故郷をはなれて生活されている方々が帰郷されることにより交流人口の増加や定住対策など地域活性化に寄与すると考えられる。その効果を十分に検証し、研究を行いたいと思う。貴重なご提案を賜りありがとうございました。

**奥村市長** 10月11日に合

併一周年記念としてイベントを展開して市内外から一万人近くの皆様が参加来場された。還暦式典



吾妻町工業団地内の道路



おおくぼ しんいち

大久保信一 議員

吾妻町

## 吾妻町工業団地内の市道の代替道路の建設は

大久保議員 三貴工業株式会社が吾妻工場として平成13年に操業を開始され、今回規模拡大に伴い市道払い下げ要望をされた。この市道の代替道路の建設を早急に行えないか。

松田建設整備部長 今回払い下げる市道工業団地線は、工業団地内を縦断し、国道251号と市道中央横断線をつなぐ道路となっており、現在田ノ平地区ふるさと農道緊急整備事業が計画されており、

251号と市道中央横断線をつなぐ道路となっており、現在田ノ平地区ふるさと農道緊急整備事業が計画されており、

り、この事業を市道改良事業に変更し、国道とグリーンロード間をつなぐ主要路線として整備するため、全体計画の見直しを協議し、19年度から実施の予定である。この道路の予定計画期間は5年であり、国道につながることで、代替道路としての対応が図られるものと確信している。

## 野菜価格安定制度の市の対応は

大久保議員 低関税、輸送技術や冷凍技術の発達等を背景として、輸入が増加している。このような状況に対処するために、野菜価格安定制度、需給安定対策が平成19年8月31日交付予約申し込み期限から、新制度に移行する。市の対応は、

奥村市長 改正後は、担

い手を中心とした産地への重点支援に置きかえられ、認定農業者と、認定農業者に準ずる者の作付面積シェア、および計画的な生産出荷で3つにランクづけし、補てん率に格差を設けることになる。今後、認定農業者制度の普及推進と、育成確保を図るとともに、担い手を増やすこと、より高い補填率が適用されるよう努力する。

## 無人ヘリのオペレーター養成は

大久保議員 オペレーターの養成が急務となっている。養成には多額の受講料がかかり負担が余りにも大きい。対策はどうするか。

奥村市長 現在本市においては、阿母崎集落営農



防除ヘリとオペレーター

改善組合で7名のオペレーターにより、延べ200ha以上の防除が実施されている。しかし、オペレーター防除業務と、農業経営が重複することや、ポジティブリスト制度による責任問題等により、辞退の意向が出されていることで、オペレーターが不足すると思われる。市としては、養成は重要課題として位置づけて、国の助成制度の強い農業づくり交付金事業により推進する本事業は、無人ヘリ導入を条件としており、免許取得費用も補助対象となっていることから、事業採択に向け努力する。



うへだ あつし

瑞穂町

## 上田 篤 議員

### 「裏金」は違法で悪質

**上田議員** 自由法曹団という弁護士団体が「裏金」問題で県知事に質問書を提出した。その中で

「裏金」は会計処理手続きが違法。管理担当者は詐欺、横領、背任の犯罪になる可能性があり、極めて悪質。他にも文書偽造、証拠隠滅なども疑われる」と指摘している。市長や助役の答弁には（裏金を）「活用した」と言葉が出てくるが、いまだに「悪いこと」と思っていないのではないかと、監査委員は「裏金」を見抜けなかったのか。

**奥村市長** 「裏金」は犯罪である。関係業者には年度を区切らずあるだけ

の資料を出させ調査する。

**金子助役** 「裏金」は当然違法だ。しかし、職員が市民のためにやったという部分もある。

**吉田助役** 「裏金」は不適正な事務処理であり、違法である。再発防止策に全力で取り組む覚悟だ。

**吉田代表監査委員** 平成17年度一般会計に「預け」が176万4738円あり、「書き換え」もあつた。適性を欠いた会計処理である。

**上田議員** 平成12年度以前の分はどうなのか。岐阜県では民法に基づ

き20年間分を調査し、返還させるといふ動きもあるがどう思つか。私的流用はどこで分かったのか。

**吉田助役** 業者には（年度を限らず）あるだけの資料提出を求める。詳しい調査結果を市民に示す。私的流用は資料チェック時に判明し、本人も認めた。

**金子助役** 弁護士なども相談しながら返還の問題も検討したい。

**上田議員** ここにいる部長クラスの人たちが、市長を先頭にして本当にやる気になれば、「裏金」問題はいつきに解決するのではないかと。

### 「いじめ」をなくす取組みを

**上田議員** 子どもの自殺ほど悲しい事件はない。

以前、市内で起こった深刻な「いじめ・虐待」の例を聞いた。学校の対応はとてもひどいものだった。同様の例はないか。

**スクールサポーター、心の教育サポーター**は効果があるようだが2校に1人の配置では限界がある。市長は昨日「必要なのはきちんとやりたい」と答弁したが、19年度から改善するのか。

**鈴山教育長** 最近、雲仙市内から長崎市内へ転校した子どもの保護者から直接相談を受けた。スクールサポーター、心の教育サポーターは各学校1人配置が理想的だ。19年度予算化の方向で進めている。

**上田議員** 深刻な事態を引き起こさないためには「いじめ問題に関するプロジェクトチーム」などを特別に作る必要があるのではないかと。

**鈴山教育長** 11月28日に「雲仙市いじめ・不登校等を考える会」という会議を持ち、対策委員会が必要であれば作ろうという確認をした。

**上田議員** 市長、スクールサポーター、心の教育サポーターについては来年度から予算化されると考えていいのか。

**奥村市長** 検討中だ。

### 健診のやり方に多くの不満

**上田議員** 瑞穂町では健

**奥村市長** 基本健康調査は今年南高医師会に委託した。受診率は市全体で12%の減である。

**井上市民生活部長** 医師会の都合で健診が午後になり、2日間に分けたりなどがあつたが、市民の声を基本にして医師会とも話をする。

**上田議員** 医師会の意見ばかりを優先するのは本末転倒。市民の声を最大限尊重するべきだ。



採血検査を受ける市民



しんたろう かずひろ

瑞穂町

## 進藤 一廣 議員

### 市発注工事に伴う 地域市民への対応は十分か

**進藤議員** 市が発注する

工事で、地権者の同意はとれているものの、地権者以外の隣接地への説明不足、本体工事以外の付帯工事の着工時期の連絡漏れなど、市民から苦情が出ている。市発注工事は地域市民の協力なしでは出来ないと考える。

①工事施工前の地域市民に対する説明等はあるのか。

②更に地域市民の協力を得るため、今後どのような対応を考えているか。

**松田建設整備部長** 工事を

施工する場合、地域住民に事業説明会を開催し、

工事に関係する地権者から測量同意を得て調査・測量に入る。その後設計書の作成、用地取得の手続きをする。これが完了し工事説明会をし用地買収、その後工事起工をし工事入札、施工業者決定、着工、施工となり、関係者には市の担当者や業者で現地説明会を実施することとしている。

議員指摘のとおり、影響を及ぼす地権者以外の隣接地への説明不足、付帯工事の着工時期の連絡漏れなどあつてはならないが今回関係者に迷惑をかけたことを深くお詫びする。

**松田建設整備部長** 事業

工事によっては環境・景觀に配慮した施工もあるが、道路整備については

**進藤議員** 旧町時代には地元との連絡がうまくいっていたが、機構改革による配置転換の影響はないのか。

**金子助役** その地域出身の職員でなければわからない部分があるという指摘があることは承知しており、例えばある課にすべての町の出身職員を配置するとか、支所には出身の職員を置くような形の人事異動をやつていきたい。各支所、各課でそれぞれの職員がきつちりと仕事を覚え、協議しながらやつて行くべきだと考えている。

**進藤議員** 水道施設のようない無機質な建物建設の場合、自然景観に配慮した設計や位置決めはしているのか。

**松田建設整備部長** 事業

工事によっては環境・景觀に配慮した施工もあるが、道路整備については

そこまで至っていない。事業の中で見られるところは見ていきたい。

### 伝統芸能の観 光資源としての 活用を

**進藤議員** 合併1周年記念事業の一つとして「郷土芸能の発表」が行われ、多くの市民の好評を得ていた。市内には、このほかに多くの郷土芸能がある。

①このような伝統芸能の育成指導はどのようにされているのか。

②市内郷土芸能の保存に ついての調査等は実施されているのか。

更に、郷土芸能を観光事業に活用する考えはないか。また、調査研究を進める考えはないか。

**奥村市長** 市内には国見

町の「鳥刺し」や小浜太鼓などを始め地域のイベントに数多く出演される



好評を得た郷土芸能交流会

態の変化で後継者の確保など継承が困難になっているものもあり、教育委員会各分室が窓口となり相談を受けながら育成支援をしている。

更なる支援として、宝くじの収益金を財源としたコミュニティ助成事業補助金を活用し、用具の整備などの支援策を検討したい。また、学校での総合学習を通じて、郷土芸能の伝承体験や地域文化学習に取り組みたい。

郷土芸能団体は、44の団体を把握しているが、活動休止団体も7団体あり、郷土芸能の保存は神社での神事や地域行事に関するものも多く、保存団体、関係団体の意見を聞きながら支援を検討していきたい。

**進藤議員** 市内には特色

ある伝統芸能が残っており、調査され観光に役立つ施策として活用されたい。

**鈴山教育長** 郷土芸能は

地域文化の継承として後世に伝えていかなければならないと考えている。しかし、急激な社会形



ふかほり よしあき

国見町

## 深堀 善彰 議員

### 市内公有地の有効活用策は

か、この土地の費用対効果の面も考えて、今後の利活用を検討したい。

**深堀議員** 今回の県への新しい工業団地の候補地として愛野地区を本市が上げた理由は。

**深堀議員** 旧町から所有している市民全体の活性化や雇用情勢に関係する広い面積の公有地の活用は、どうなっているのか。また、平成19年度へ向けての市長の考えや取り組みは。

**塩田総務部長** 旧町から引き継いだ公有地の中で企業誘致の用地とも成り得るような広い市有地は、小浜町のマリーナ3番地・8番地・13番地がある。3筆合計の面積が、1.6haである。

**奥村市長** この市有地を、体育施設に利用するか、あるいは、もつと土地評価の低い場所を検討する

ていること。10ha以上の土地が確保できること。迅速な造成が可能なこと。それと造成費が安くできる等である。

愛野町の評価についてはまず有効面積が6・8haと少し狭かったということ。交通アクセスに少し難があるということ。農地がほとんどで、転用に時間がかかる。ということである。

**東観光商工部長** 旧町時の千々石町からその予定があったということですが、それで本市が新規に県へ申請をするということ、まずその愛野地区を上げた。

**深堀議員** 県が、新しい工業団地選定に愛野地区を外した理由やその評価内容を聞きたい。

**東観光商工部長** 今回県の選定に波佐見地区、諫早地区が選定された。県の主な評価のポイントは、まず交通アクセスが優れ

められている土黒沖約30haの埋立地活用は、今後どう考えているのか。

**奥村市長** この埋立事業の事業主体は県であり、埋立て完成後、恒久的に市の施設を建設するなどの利活用をする場合には、県から用地を購入する必要があり、維持管理経費等も考慮する必要がある。そして、旧町よりの利活用の計画は、見直しを余儀なくされていると考えている。

**奥村市長** 本市としては直ぐに対応できる土地はないか現地調査を行うなど、調査検討を行っている。また、立地企業に対する市独自の奨励制度の創設も進めており、男子雇用型の企業や雲仙市の農産物等、豊富な資源を活用できる企業の誘致に努力している。

### 県と連携して 国見町多比良港隣り埋立地の利活用を

**深堀議員** 国見町多比良港港湾環境整備事業が進

の埋立地は、これまでの総工費が約50億円。内訳は県負担額が約30億円、国の負担額が13億円、そして地元負担額が約10億円となっている。本年度約半分の14haが埋立完了予定と聞いている。

先ほど交通アクセスの問題もあつたが、島原半島3市が強く推進し、国への重点要望事項である諫早市より島原方面への地域高規格道路の計画も踏まえて、県としても、我が雲仙市としても、将来的構想には大変重要な利活用地だと思つたが、新規工業団地、雇用対策として考えられないか。

平成24年度には全国から30万人を超える来場者が見込まれる第10回全国和牛能力共進会が長崎県で開催される。雲仙市としても、大きな経済波及効果をもたらすことが期待されるので、この共進会をこの埋立地に是非誘致したいと考えている。

**深堀議員** 今回の選定で、波佐見町に県が造成する新規工業団地は、用地取得を含め30億円から40億円の工事費の予定である。面積は20haと聞いている。この国見町多比良港隣

**奥村市長** 今回企業立地について専門の担当課を作り、これからのように企業誘致を進めて行くか、また県の企業立地推進本部とも常に連携を取りながら、今どつという問い合わせが在っているのか、そしてまた雲仙市でどつという組み合わせが可能なのかということも含めてやっていくつもりである。

**深堀議員** 県の神ノ島工業団地の状況は、臨海部にありながら3万ト級の貨物船が横づけできないこと。港湾機能の欠如が企業誘致の困難な最大の原因と、松尾買立地本部長が言っている。

この多比良港隣り埋立地は、内海の臨海部でもあり、台風などの災害時にも比較的に穏やかで、3万ト級の貨物船が横づけできる多大な可能性を秘めていると思う。

市長が言われるアジア全域を見据えた構想で、海上輸送の拠点としても考えられると思う。雲仙市民は、県や国との強い連携による各種事業の推進を期待している。雲仙市民の将来的展望を見据え、市民の負担が軽く済むような考えで、今後の構想を立てるべきだと強く要望する。



ふくだ だいとう

小浜町

**福田 大東** 議員

## 雲仙市財務会計に 複式簿記会計制度導入の考えは

**福田議員** 雲仙市が誕生し、1年が経過した。しかしながら旧町時代の負の遺産もそのまま引き継ぎ、厳しい財政構造が続いている。早急に財務改善策が求められているところである。

そこで行政の特質を反映した複式簿記、発生主義会計制度の導入を提言する。三位一体改革、少子高齢化社会の到来等々、厳しい外部環境の変化に対応し、雲仙市が将来、安定して存続してゆくには、どのように対処していけばよいのか？平成19年度より債権団体に陥ることになった「夕張市」

**奥村市長** 総務省の行政改革の指針では、議員指摘と同様の趣旨で貸借対照表、行政コスト計算書などの複式簿記、発生主義

の問題も決して他人事で済ませる訳にはいかない。これからは貸借対照表、行政コスト計算書を作成し、自治体の経営機能や監査機能を強化し、中長期的に持続可能な行政運営を行っていく必要がある。

コスト計算書はあらゆる行政サービスが明確になり職員や住民の原価意識も高まってくると思うが、市長の所信を問う。

義に基づいた財務諸表を整備し、資産、財務管理に活用する地方公会計改革を推進するとされているが、発生主義会計制度導入には今しばらく時間を要する。努力したい。

## 公共工事入札業者の 級別格付け基準は

**福田議員** 工事業者の等級分けをA、B、Cランクに区分けしてあるが、5ないし6ランクに区分けできないか。

**吉田助役** 細かく区分けすることにより却って指名の機会が減少することもある。入札審査委員会の意見も聞きながら総合的な見直しも含めて検討する。

## 赤字続きの国民宿舎 「望洋荘」の今後は

**福田議員** 望洋荘あり方検討委員会の答申を受け市長方針はどの様に決定したのか。

**奥村市長** 答申では、継続の方向とし、経営主体は平成21年度までの4年間は市直営とし、以降は指定管理者制度の導入など民間に経営委譲する。

**福田議員** 何故4年間なのか。

**奥村市長** 4年間の間には退職者も出てくる。4年間で経営体制の建て直しをする。

**福田議員** 市長は、この答申書を評価しているか。

**奥村市長** 想定内だ。

**福田議員** 予想外の答申

に驚いている。全く評価できない。基金を再投入して施設改善をするところだが、現在までの9年間で約1億2,000万円消失している。答申ではいくら投資して、どの様な効果を想定しているのか。営業収支計画書の添付もない。物語的で実に曖昧である。

現在の小浜地区の宿泊

客数は、1日当り収容可能数1,500人実質宿泊者数600人(40%)である。部屋数は有り余っている。

早急に「望洋荘」は赤字続きの宿泊部門を廃止し、民に出来ることは民にまかせ、市民のための「健康浴場」として再生を図るべきである。

市長の英断に期待する。



国民宿舎「望洋荘」の浴場



しばた やすひで

愛野町

柴田 安宣 議員

## 種子馬鈴薯採種組合への助成の考えは

**柴田議員** 県下全域において事業を展開している採種組合は、県からの委託生産で市の援助を受け自主運営をしているが、非常に厳しい状況である。更に市の助成を行う考えはないか。

**奥村市長** 本市においては、馬鈴薯生産振興対策事業として、運営費、生産活動事業費を助成している。これは2年間の事業だったが、今後も事業内容を検討し継続して実施する方向で考えている。

## 観光地の駐車場整備を

**柴田議員** 観光客のほとんどが少人数でマイカー使用のため駐車場の絶対量が足りない。観光を玉としている本市として、駐車場を整備することについて見解を聞きたい。

**奥村市長** 雲仙温泉街では、行楽シーズンには駐車場不足が指摘されていた。市内には各地に名所旧跡が多数あり、その駐車場も不足気味である。今後、既存駐車場の有効活用など関係団体と協議したい。

## 児童公園設置と夜間保育は

**柴田議員** 市民から、児童公園の設置や夜間保育の要望が多数ある。現在保育については昼間も手いっぱい夜間まで手が回らない状況である。これに対する市の考え方は、

**奥村市長** 児童公園を設置する場合、国や県の補助制度がなく、市単独で設置することになり、管理運営に毎年多額の経費が必要になる。今後、市内に10カ所設置している子育て支援センターの利用促進に取り組みたい。夜間保育については、

現在、市内の29保育所のうち27カ所で延長保育を実施し、うち17カ所で午後7時まで延長している。ほとんどのニーズに応えられているものと考えている。



千々石の海岸

## 千々石砂浜の調査と安全対策は

**柴田議員** 千々石の砂浜の砂は年々減少し、美しい砂浜に石が多数出てきている。砂の減少の原因の調査と、安全対策を今後どのようにするのか。

**松田建設整備部長** 千々石町で現況調査を実施しており、砂が沖合いに移動しているとの調査結果が出ています。今後はさらなる詳細な調査が必要と考えています。

また、海岸周辺の住民の方々には、台風、高波等の情報を迅速かつ正確

に知らせ、安全な対応策を図っていく。

## 千々石川 鮎復活の対策を

**柴田議員** 千々石川は現在も自然の鮎が生息する非常に貴重な川である。最近、鮎が著しく減少しているように思われる。鮎、ヤマメ、清流及び柵田は市の貴重な観光資源と考えるが、何か対策を考えていないか。

**松田建設整備部長** 貴重な自然環境の川を守る観点から、本年度に水資源



千々石川

の有効活用を目的として千々石川に転倒堰を設置する予定である。これは魚類の遡上に十分配慮し、生息環境に与える影響を最小限にとどめた設計としている。

## 農協の遊休地を活用して工業団地化を

**柴田議員** 吾妻にあるカントリー周辺の農協の土地は半分以上が空き地となっている。これを工業団地として活用してはどうか。

**奥村市長** この土地は、現在、第一種農地として利用計画し、事業進行中である。法的制限もあり、この土地を工業団地等へ用途変更することは現時点では困難である。今後、市内全域において適地調査を行い、企業誘致に速やかに対応できる工業団地の確保につとめていきたい。



まつお ふみあき

松尾 文昭 議員

愛野町

## 新庁舎建設の計画は

**松尾議員** 新庁舎の建設

を市の総合計画に入れるのか。12月までには次年度の予算の編成時期でもあるが、総合計画と合せ財政計画も必要になると思うが。

いて今後の取り組みについては。

**奥村市長** 庁舎の建設、整備を図るためには、基金の積立と合併特例債の活用が必要不可欠であると認識しており、庁舎建設と同様3月議会において示す考えである。

## 消防行政の基本方針は

**松尾議員** 県央広域圏と

島原広域圏に二分されている広域消防の一元化をどのように考えているのか。国の方針では広域人口を30万人規模として5カ年計画で示すよう県に要請があつてると聞くが、現在の状況としてはどうなのか。市としての基本方針はあるのか。

**奥村市長** 市としても、合併前からの懸案事項であり、常備消防の一元化を早急に図りたいと考え、一部事務組合の整理統合も含めて協議を進めていた。消防庁が本年7月に示した市町村の消防の広域化に関する基本方針では、人口規模30万人を一つの目標に広域化を推進することが明記された。この基本方針を受け県は平成20年3月までに推進計画を定め、県の推進計画策定後5年以内に広域化を実現するとなつており雲仙市としては、今後策定される県の動向を十分に見きわめ、広域消防の一元化に向け努力していきたい。

**松尾議員** 普賢岳火災に

関して、本市側に監視カメラを設置する考えはないか。

**奥村市長** 普賢岳に監視カメラを設置するとなると電源設備及び通信設備を設ける必要があり、相当な工費が必要になると見込まれ、また国立公園内ということで制限もあり、設置については現在のところ考えていない。

## 入札制度のあり方は

**松尾議員** 入札における

市内業者の割り振りについて地域間、指名回数、事業内容に対する均等性がそれぞれ取れているか。今後の考え方は。

**吉田助役** 雲仙市建設工

事の指名基準に基づき、工事ごとに地理的条件、経営状況などの確性を総合的に勘案し、工事の発注金額に応じランクごとに業者選定を行っているが、工事が市内全体に均等に行われていない状況もあり多少の差がある。



平成新山の火災

いる子供のいじめ、不登校、虐待問題に対する市の取り組みはどうか。

**鈴山教育長** いじめ

等の問題行動については、早期発見早期対応を基本的な考えとして、事実関係を

**松尾議員** 入札結果の情報公開はどの範囲まで公開するのか。

**吉田助役** 入札結果の情報公開については、公共

事業の入札及び契約の適正化の促進に関する規則に基づき現在管財課窓口において閲覧に供し、ホームページへの掲載については、早急に閲覧に供するよう現在整備を進めている。

## 教育問題に対する市の取り組みは

**市田市民福祉部長** 児童

虐待に対しては、これまでも児童虐待の予防、早期発見、早期対応のため広報その他の啓発活動を行っている。

**松尾議員** 全国で多数発生し、社会問題となつて



おた こうめい

小田 孝明 議員

国見町

## 介護保険法の趣旨を曲げていないか

**小田議員** 平成17年6月に雲仙市内のグループホーム事業者がグループホームの新設申請を行ったが、島原広域圏組合は同意しなかった。平成17年9月に南高市の医療法人の新設申請には同意し建設中である。不公平ではないか。

**奥村市長** グループホームが島原半島内で千々石町だけなかったため、広域圏組合はやむを得ないと同意した。

**小田議員** 要介護者が3年以上市内に居住していなければグループホームに入所できないとは理解できない。介護保険法のどこに書いてあるのか。

**奥村市長** 平成17年介護保険法の一部改正により市内に過去3年間居住していることが原則となった。

**小田議員** 雲仙市内の事業者に、千々石町の話が全くなかった広域圏組合

また、諫早市等市外から要介護者が住所を移さないで諫早市が介護費を負

担するというのに、雲仙市内のグループホームに入所できないのはなぜか。料を支払っているのか。

**奥村市長** 地元の人が入所できなくなり、地域密着型サービスの趣旨から外れるため決定されたと聞いている。

**金子助役** 居住年数3年と他市からのグループホーム入所の件は原則であり保険者同士の協議が整えば入所できるということである。

**小田議員** これも理解できない。広域圏が入所者を見つけてグループホーム

**小田議員** 今回の介護保険法の改正でグループ



市内のグループホーム

ホームに3名以内の認知症の方を通所介護（デイサービス）ができるようになっていだろうか。

**奥村市長** 島原広域圏組合はグループホーム以外の事業所でサービスを受けられる余地があるので居住定員内で3名を限度としているとのことである。

**小田議員** 定員内の3名とは介護保険法の改正の趣旨を曲げている。

市長は副管理者として正しく直すように。また、今回の改正でグループホームに短期生活や介護（ショートステイ）が1名空き居室を利用してできるようになった。これについては島原広域圏組合も法の改正の趣旨のとおりと聞いている。

人間ドックについては6月議会で質問した。

20年以上の実績があり、雲仙合併協議会でも決定していた諫早総合病院、宮崎病院、玉名農村保健センター、県立多良見成人病センター（長崎原爆諫早病院）を除く理由がないと主張していた。どう検討されたか。

**奥村市長** 今回人間ドック受診希望者にアンケート調査を実施したので、その結果などを基礎にして決定したい。

**小田議員** 基本健診と各種がん検診を南高医師会に委託したことにより、今まで1日で終わっていたのが2日、3日とかかっている。市民にとつて後退しているではないか。

**奥村市長** 市民の皆様が受診しやすい市民主役の健診づくりのため関係機関と協議をしている。



いのうえ たけひさ  
南串山町

## 井上 武久 議員

### 市政の信頼回復に向けた市長の決意を

**井上議員**

本市において

も不正経理（預け）が発覚し、11月3日の長崎新聞に大きく報道され、市民に大きな衝撃を与えた。

特に本庁と南串山支所だけが不正経理を行っていたとの報道であり、多くの市民から真相を求められた。しかし、11月29日、ほかの支所でも「預け」が行われていたとの報告を受けた。

では、あの報道は何だったのか。なぜ、よく調査をせず発表したのか、

容となったことに対し、深くお詫びしたい。

**井上議員**

合併前より7

町で「預け」「書き換え」などが慢性的に行われており、それが新市に引き継がれているとのことだが、今回、私的流用も見

つかっている。こうした不正経理が私的流用の温床になったことは明らか

である。対応策として、外部調査を行うとともに、職員教育の徹底と意識改

革、事務処理の改善に取り組むとのことだが、現在の率直な心境と今後の決意を市長、両助役から聞かせてもらいたい。

奥村市長 今後、外部調査委員会を発足させ、その調査結果を報告したい。職員一人一人が5万人

の市民に仕えるパブリックサーバントであること

を認識し、1年前に戻り

7町が一つになって雲仙市のために頑張ろうと思った。初心に戻り、もう一度雲仙市を作って

きたい。さまざまな指摘も叱咤激励と考え、職員一同、一生懸命頑張って

いきたい。

**金子助役** 市民皆様へ不安と不愉快な思いを与えたことについて、心からお詫びしたい。職員がやむにやまれずやったこともあったが、今後こういうことをなくすために職員一同一丸となって邁進してまいります。

**吉田助役** 不正経理処理が行われたことについて

大変申し訳なく、心からお詫びしたい。

今後は職員の意識改革

を図り、再発防止に努め、1日も早く市民皆様の信頼を取り戻していく覚悟である。

全職員、心を新たに、雲仙市発展のために取り

組んでまいります。

**井上議員**

市長、両助役

ともども今の言葉を胸に、一刻も早く市政への信頼回復を図り、市民の負託にこたえられるよう要望する。



# 総務常任委員会

石川県加賀市山城温泉「瑠璃光」社長萬谷氏との意見交換会では、旧態依然とした経営から脱却し、サービス内容の変革、温泉地に根ざす文化の見直しや掘り起こしにより、人づくり・まちづくり、リピーターづくりの重要性を見だし、そこにあ

る本物を用いて、「地元住民との交流」や「連泊滞在型」の客層への変化などを経営の中心として取り組んでいるとのことであった。「人にやさしい温泉文化」ということについては、伝統と歴史と品格を基本としており、雲仙・小浜温泉をはじめ、神代小路地区も、本物があるがままに保存し展開して行くということにおいては、本市にとって今後参考となる研修であった。

南砺市は、平成



南砺市の調査を終えた総務委員

16年11月1日に4町4村が合併した市で、面積68・86km<sup>2</sup>、人口58、457人の市である。  
 ・行政改革実施計画  
 ・コミュニティバス  
 について、合併後のまちづくりの参考にすべく研修を行った。

- 1、合併当初体制から再構築する、簡素で効率的な行政運営の推進
- 2、将来を見据えた健全財政基盤の整備
- 3、市民と共に取り組む市政の推進

## 総務

# 報告

## 教育 厚生

項目として、そのほか、身近なものとして自治振興会の活用や、市長の年1回の市政懇話会（旧8町村）などを行っている。

本市のまちづくりの参事となる改革事項や、バス事情改善にも参考となる点もあり、大変有意義な研修であった。

## 教育厚生常任委員会

行政調査をする場所にまず選んだのは、兵庫県宝塚市であった。事前調査の段階で、是非にその議会活動を勉強させてほしいとの要望が委員会の中でも多かったからである。議員自ら積極的に議案を提案し、議員主導で多くの条例を作っているという活動について、今回、宝塚市議会の馬殿議長及び議会事務局の村上

氏にくわしく説明をしていただいた。各議員が一般質問を通じて市の課題を指摘、他市の視察及び事例研究、関係法令等との関係把握、色々な視点から考えることで市民のために成すべき活動が見えてくる。議会事務局と相談、同僚議員との議論を経て政策条例の素案作成につながっていくということであった。今、各



宝塚市議会の状況を聞く委員

地で批判も出ている「政務調査費」を使つての勉強、資料収集など議員としての自覚を強く持つて臨まれているその熱意に、雲仙市議として、一同深く感銘したことであった。同じく宝塚市では、「フレミラ宝塚」を訪問。「ふれあい・未来」を短くしたその名称は「老人福祉センター」と「大型児童センター」との複合施設であり、時間差によって有効に使い分けてあった。2日目に訪れた篠山市

は、約20億円をかけたという素晴らしい市立図書館を持ち登録率が42%ということ、今後更なる蔵書を目指していかれる予定とのことだった。篠山市では「介護予防事業の取り組み」について担当課長から説明を受けた。地域密着型介護防をということでさまざまな実践活動を紹介され、多くの意見交換ができた。「介護予防3か年戦略」と称して長期に渡つての活動を展開されており、雲仙市では、どんな取り組みが有効であろうかと考えさせられた。

3日目は「ひと・まち交流館」の調査後、各委員が研修場所として決定していた建物や地域へ、分散しての調査となった。それぞれが何を見、何を、そしてそれを雲仙市のためにいかに活かしていけるかが大切なことだと話し合った。（今回の視察研修ではそれぞれの議会、職員の意欲的な態度が特に心に残った。）

# 建設常任委員会

平成18年11月15、16日に岐阜県の各務原と海津市を訪問し、硝酸性窒素による、地下水汚染対策と、下水道事業への対応を研修しました。

①各務原市は人口15万人の財政豊かな市で、川崎重工業KK等、大企業があり、盆地状の地形の中に存在する歴史ある市でもあります。地下水汚染については総合的調査に基づく、原因の究明と特定がなされた。特定に当っては、窒素以外の肥料中に利用されている成分も



各務原市の状況を聞く委員

検出された為、同市特産のニンジン栽培の肥料と断定され、農協やニンジン栽培者と協議がなされた。結果として、施肥基準の見直しによる減肥と

②海津市は1年半前3町が合併して出来た人口4万人の市で、財政状況等は雲仙市と似かよった市であります。下水道の整備状況は整備面積62%普及率69%、水洗化率56%であるが、これまでの経過の苦勞と下水道会計の

旧町時代、合併浄化槽に対する補助金(最高100%)が町長の交代により変わり、対応に苦慮されたようである。一般会計予算150億円の市で

下水道特別会計予算31億円に対し、年13億7,800万円の繰出金は大きな負担に思えた。雲仙市では、このような状態にならぬように、今のうちに検討しておく必要がある。両市の担当職員の方々の

感謝すると共に我々の接遇もかくあらむと思った。

# 建設

# 行政視

# 産業 経済

山代温泉の状況調査



で4割近くが減ってきた。この惨状にいち早く危機感を抱き、団体客中心から個人客重視のまちづくりへ転換を図られた。この他にも地域が一体となつて努力をされており、色々と発想をかえて生き残りの道を検討されていた。

本市としても雲仙・小浜温泉地としての観光活性化の取り組みについて大変参考になった。

## 高宮営農組合

組合は平成11年1月設立、戸数55戸、経営面積61・5haで兼業農家100%。高齢化、担い手不足、機械への過剰投資

資など多くの問題があり設立され、担い手育成型基盤整備事業を実施している。

経営理念として、  
・ムラ機能の充実と組合員の生活の向上

・基幹農業従事者の確保と高齢者、女性労力の活用  
・高品質農産物生産と消費者との連携

・複合経営の取り組み  
・限らない低コスト生産と生産性向上

今後の対策は生産コストの低減と農業所得の向上、永続的な営農組織としての拡充、集落機能の拡充強化、消費者ニーズへの対応が求められることであつた。

本市においてもこれからさらに営農組合が組織されていくと考えられ、まず先頭に立つ人材を育成し、各農家への理解を求めることが重要であり、今後も集落営農を強化していく必要があると感じた。

# 産業経済常任委員会

平成18年11月25日から27日まで、石川県加賀市観光協会の山代温泉の現

状と観光活性化への取り組みについてと、富山県南砺市高宮営農組合の集

成13年をピークに15年間



高宮営農組合の状況調査

# 関係省庁に意見書を提出しました

## 「道路特定財源制度の堅持に関する意見書 (発議第19号)」を提出

要望書「道路特定財源制度の堅持に関する意見書提出の件」建設常任委員会において、審査しました。その結果、議員発議により、意見書として議決しました。雲仙市内の道路は、内陸部へ至る道路や主要県道の整備等、早急に道路ネットワークを構築する必要性に迫られている。また、九州の主要都市や本州へと広域交流促進が可能となる、地域高規格道路島原道路等の早期完成を待ち望んでいる。道路整備のための財源である道路特定財源について、一般財源化を前提とした見通しが進められているが、道路整備に当てる財源として確保することを強く求める意見書を関係省庁に提出しました。

## 「トンネルじん肺根絶施策確立に関する意見書 (発議第20号)」を提出

陳情書「トンネルじん肺根絶対策を国や県に求める意見書提出に関する件」教育厚生常任委員会において審査した結果、その趣旨を踏まえ陳情書を採択しました。それを受け議員発議により、意見書として議決しました。公共工事によって、発生するトンネルじん肺被害者の早期救済を図るとともに、今後、トンネルじん肺患者を出さないための施策を強く実行されるよう要請する意見書を関係省庁に提出しました。



新しい年を迎え、雲仙市も新たなスタートを切った。1月4日、南串山町のハマユリックスホールでは成人式が開催され、大人の仲間入りをした若者たちの笑顔で満ちあふれていた。5日はすばらしい晴天の下、消防団の出初め式が行われ、園児や婦人会の皆さんの行進も花を添えていた。6日は初めての新年祝賀名刺交換会が、雲仙のホテルで挙行された。挨拶をし、言葉を交わすことから人と人のつながりが広がっていく。雲仙市の輪が少しずつ大きくなっていくことを望みたい。



ある市民の方から「議会だより」の経費について心配の声が寄せられた。カラー印刷は高いのではないかと、2色印刷でもよいのではないかと、という内容であった。委員会では他市の調査も充分にし、比較検討の結果、見やすさや費用面を考慮しても、現在のカラー印刷で問題はないと判断した上で発行している。号を重ねるにつれ意欲も増し、6号の完成を目指し、原稿とらめつこをしている。写真を撮るのも、失敗しながら頑張っている。皆様から、興味をもって、読んでいただ



進上原吉松佐森増  
藤田田尾藤山山  
一洋美文靖繁良  
廣篤文昭弘一三

ける「議会だより」づくりにも本年も広報委員一同、心を合わせて取り組んでいる。外は冬の寒さで震えそうだが、熱気に満ちた編集作業が続いている。皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。(M・Y)

議会広報編集特別委員会

編 ● 集 ● 後 ● 記



平成19年2月1日発行/第6号 発行 雲仙市議会

編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 (株)昭和堂 ☎0957226000